

the19th.

Hokkaido Student's Design Competition

一般社団法人 サッポログラフィックス杯
第19回 北海道学生デザインコンクール

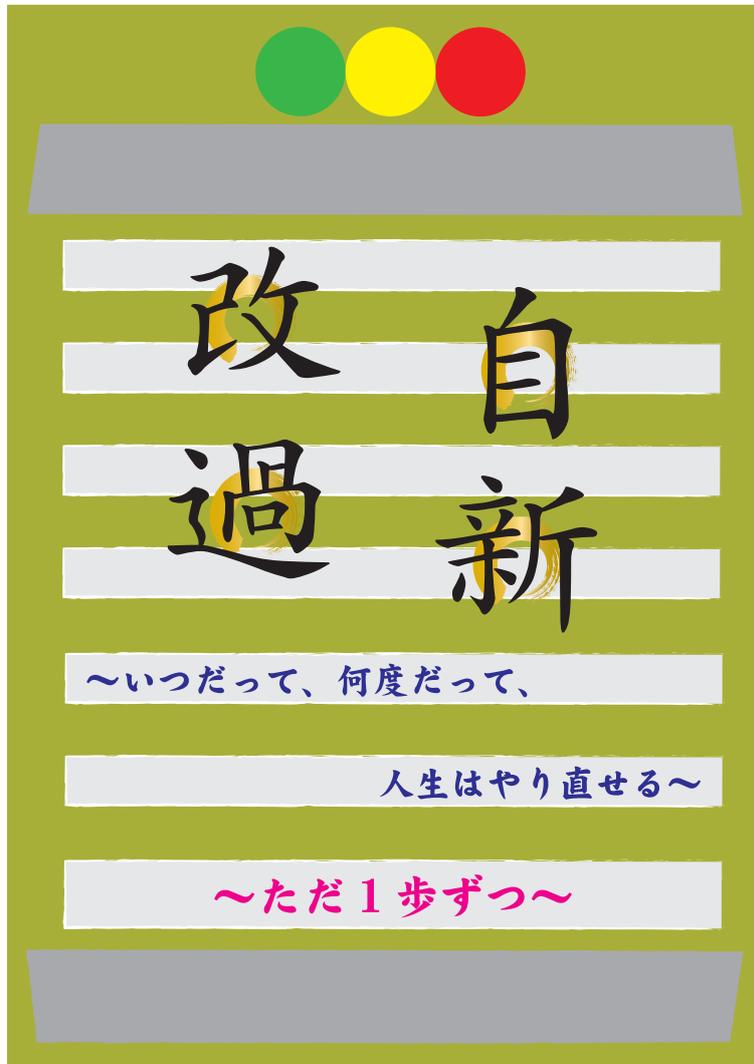
北海道札幌高等技術専門学院
応募作品

テ ー マ

今年度のテーマ「Restart」は、新型コロナウイルス感染症が徐々に収束し、日常が戻りつつある中で、個人や社会にとって重要な観点だと考えています。グラフィックデザインを通じて、一人ひとりがこの新しい時代にどのように適応し、何を再起動し、何を学び、何を伝えるかを考え、ポスターやイラストを制作してください。

社会的な視点から見ると、「Restart」はコミュニティや社会全体に影響を与えます。新型コロナウイルス感染症の危機は、環境問題、経済格差、人権問題など、従来目に見えなかった問題への意識を高めました。この機会に、持続可能で公平な未来を築くための「Restart」を模索しましょう。

それぞれの視点から「Restart」の意味や価値を自由に表現し、グラフィックデザインの力で新しい時代を迎える準備ができた世界への「Restart」を表現してください。



講評

作品を拝見し、独創的な視点を感じることができました。信号と横断歩道を用いたメタファーは、人生という旅路における再出発を巧みに表現しており、和風の色合いと楷書文字の使用は、日本的な深みを感じさせます。ただ、いくつかの点を注意することで、作品が洗練される可能性があるためアドバイスとして以下に記述します。

・要素の調和：

ポスターには信号、横断歩道、四字熟語、コピーなど、多くの要素が含まれていますが、これらが時に視覚的な混乱を招く可能性があります。メッセージがより直接的で強力に伝わるよう、要素の統合やシンプル化を検討しましょう。

・文化的一貫性：

信号の色の選択は、意図したメッセージを伝える上で重要ですが、横断歩道の先にあるのは青、赤、2色の歩行者用の信号の使用のため、違和感を受けました。実物のモチーフを使う際は、ある程度現実に即したモチーフを配置する必要があります。

・アクセシビリティと理解：

選択された四字熟語がややマイナーであるため、鑑賞者の一部はその意味を即座には理解できないかもしれません。また、文字の配置は読みやすさを考慮することが重要です。縦書き文字は右上から読みはじめるので、縦組みと横組みが混在する際はわかりやすくすることが重要です。

・デザインの多様性：

フラットな表現に加えてアナログ的な要素を取り入れることはいいですね。テクスチャと深みを加え、視覚的な引き付け力を高めまので、狙って使っていきたいところです。

この作品は、視覚的なストーリーテリングの試みが強みではありますが、ぱっと見、シンプルに見えるのですが、その実、要素が多くメッセージが伝わりにくくなっていますので、ひとつの要素のみで本当に伝えたいことを表現できるとよりよい作品に仕上がると思います。